



第44号（平成30年7月発行）
印刷・発行 越前市図書館友の会
〒915-0832
越前市高瀬二丁目7-24（越前市中央図書館内） 電話：0778-22-0354
tomonokai@lib-ci-y-echizen.jp

友の会だより

友の会からのお知らせ

2018 歴史講演会・骨董講座の お知らせ

○骨董講座

『第二回アナログ・レコード盤の愉しみ』

講師 越前市図書館友の会会長

三田村 善衛氏

・月日 7月7日（土）

・時間 午後2時～3時30分

・場所 越前市中央図書館学習支援室

七夕の日に行われる二回目の講座では、前回の復習も兼ねて、アナログ盤の持つ人間的な暖かみ、テイストについてより深い分野にまで掘り下げていくつもりです。CDしか知らない世代の方々も含めて、いろいろな方々のご参加をお待ちしております。

○歴史講演会

『坂本龍馬が目指した新国家建設』

講師 福井あすわ歴史道場会長

松下 敬一氏

・月日 9月8日（土）

・時間 午後2時～3時30分

・場所 越前市中央図書館学習支援室

「明治維新150年を考える」竜馬と福井藩が目指した新国家」

新たに見つかった坂本龍馬の手紙に書かれていた話題のキーワード「新国家」とは新たな国家体制のことであり、「橋本左内」のいう公儀政体論に基づく「民主的な近代統一国家」のことであったのではないだろうか。福井あすわ道場会長 松下敬一氏が読み解きます。

図書館からのお知らせ

○図書館からのお知らせ

〈展示・特集コーナー〉

【中央図書館】

◎地域資料展示コーナー

◆「越前府中の通り名」

7月6日（金）～9月5日（水）

江戸時代から伝わり今もなお呼び継がれている「お医者通り」「馬場通り」など全部で6つの通り名を取り上げて場所、由来などをパネル展示にて紹介します。

◎一般展示コーナー

◆芥川賞・直木賞

第159回芥川賞・直木賞の候補者とその作品を展示します。

◆伝え継ぐ戦争

◆図書メシ

◎シニア悠々コーナー

◆「孫育てのススメ」

おじいちゃん おばあちゃんの出番です！

◎ティーンズコーナー

◆「読書感想文におすすめの本」

◎児童コーナー

◆「夏休みおたすけ本」

【今立図書館】

◎一般展示コーナー

◆「夏休み宿題おたすけコーナー」

野良猫ぶく

栗波 和夫

みぞれ降る日にやってきた
軒下の野良猫ぶく
兄弟でいちばん小さく
後ろ足が折れていた

冬の間だけ
足が治るまでと

ダンボールに餌を置いたら
兄弟姉妹

四匹とも住み着いた

今に家中 猫だらけ

動物病院のセンチも呆れ顔

いったいぜんたい
どうしよう

外で遊ぶ子猫たち

ご近所では苦情タラタラ

おかげで居間は猫屋敷

父母は彼岸に去り

娘は遠く

音沙汰もなし

いったいぜんたいどうしよう

つまるところ

誰か

かわいい子猫 いらんかね

(連載第四回)

コレクター—悲話

三田村 善衛

レコードのジャケット、本の装丁、および骨董品などにみな通ずるのは、やはり「味」であり「雰囲気」などだと思う。これがCDR、電子書籍、ヴァーチャル物体などではあまりに無機質で味気ない。人間が手で作った物のあたたかさ、ぬくもりみ

たいなものが、今ほとんど無くなりつつある。近未来では人間そっくりのロボットが伴侶として波及するのではあるまいか。すでにロボット犬のようなペットを熱愛する方も少なくなないし、将来はきっとイケメンのロボット夫や、美形で従順なロボット妻がどんどん増加するのだろうか。

そんな争いのない理想の人工家庭の中で、果たして生花を生ける人はいるのだろうか。陶芸もその内に完全に消滅すると言われている。プラスチックの皿や仮想世界に囲まれて、本人さえもサイボーグ化して行く。となれば、人間の個性すらも失われて行くのだろうか。

コレクターとは時代の逆行者であり、コレクションは自身の揺ぎない審美眼による選択の結果でもある。こだわりの「味」と「雰囲気」の集大成こそがコレクションだ。趣味は古本屋めぐりで古書漁り、中古レコード鑑賞、骨董いじりでござい—なんて年寄りも完全にいなくなるのだろうか。そんな時代おくれの隠居じいさんをなつかしむ連中は果たして何人いらっしゃるか。

(つづく)

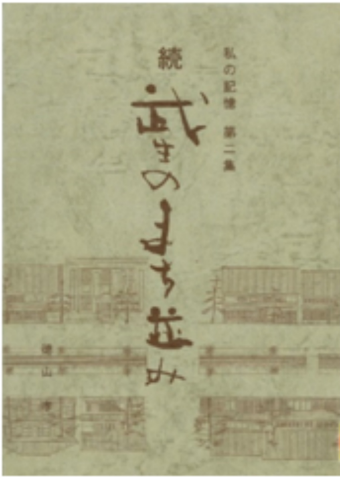
地域資料展示コーナーのご紹介

◎「越前府中の通り名」から

越前府中には、江戸時代から使われ続けている通り名・筋などが存在し、昔の名残を残しています。そこで今回は、「お医者通り」「馬場通り」「小鳥町」など全部で6つの通りをとりあげて場所・由来などをパネル展示にてご紹介いたします。

その中からおすすめます本は「私の記憶第二集 続 武生のまち並み」です。大正・昭和時代の通りや町の様子が生き生きとした写真とともに載せられています。現在と見比べてみると変わらない通りが多くあることに驚かされます。展示と併せてぜひご覧ください。(E.I)

『私の記憶 第二集 続 武生のまち並み』 徳山孝／編著



展示コーナーのご紹介

◎ 伝え継ぐ戦争

終戦より73年を経て、戦争の悲惨さを自らの体験として次代に伝えられる人が次第に減っています。戦争体験をどのように次の世代に伝えていくか、みんなどこかに問題意識はもっているテーマです。今回、戦争の記録、戦争体験、平和への活動、をテーマに本を集めました。誰もが、心の底では平和がいいと思っっています。そんな、心には思いがあるけれど、きっかけがなかったという方に、この展示のどれか1冊から、「自分のこと」として戦争と平和について考えてみてはいかがでしょうか。

『戦争体験を「語り」・「継ぐ」』 学研
この本では、戦争を語り継ぐための活動を、広島、長崎、沖縄、日本全国、世界とわけて、戦争を体験していない世代による、今の子どもたちに伝えるための新しい取り組みを紹介しています。この本を読んで感じたことを、周りのひとに話してみることも、「語り継ぐ」一歩になるのではないのでしょうか。

今月のお勧め本

○「橋本左内―その漢詩と生涯―」増補版

附 橋本左内漢詩訳注(一)

前川 正名／著 三重大学出版会

2018年3月4日

○ からっぽの冷蔵庫

見えない日本の子供の貧困

認定NPO法人 フードバンク山梨理事長

米山 けい子／著 東京図書出版

2018年2月15日

○ 背中地図 金時鐘詩集

金時鐘／著 河出書房新社

2018年4月20日

○ 最強の健康法

病気になるない最先端科学 編

世界レベルの名医の「本音」を

全部まとめた

ムーギー・キム／著 ベストセラー「最強

の働き方」「一流の育て方」著者

S Bクリエイティブ 2018年4月30日

○ 自分を愛すると夢は叶う

吉本 ばなな 奥平 亜美衣／著

マキノ出版 2018年5月1日

平成30年6月23日

青木豊昭先生講演会アンケート結果報告

演題 「越前市での南北朝の戦い」

「今まで、南北朝合戦にそれほど思いはなかったのですが、友の会だよりでこの講演を知り、これを機会に少し深めたいと思いました。とてもわかりやすい講演で興味がもて、よく聞く名称が出て今後も続けて講演していただけたらうれしいです。」

「非常に詳しく説明していただき良く理解できました。このような歴史の講座をお願いしたい。」

「講師の巧みな話術にひきつけられあつという間の一時間三〇分だった。越前での南北朝の戦いの様子がよくわかった。」

「生き生きとしたお話で興味深く聴きました。昔の越前の位置付けが分かり誇りに思った。」

「大変おもしろく勉強になりました。今後も出席したいと思います。武生が南北朝の戦いの場になったとは知りませんでした。」

「継体天皇。大滝神社（岡太神社）千三百年大祭の今年、当該二峯城を拠点とした越前市南北朝合戦の貴重な話を聞け、とても勉強と成った。現代薄れゆく過去の歴史・文献の希薄化傾向の中、後世への真実伝承の大切さを痛感した。次の貴重な講座に期待したい。」

「古文はむずかしかつたけど、わかりやすく説明してもらって勉強になりました。現代文にての説明を今後は期待します。」

「大変面白い話でした。史実に基づきリアル感ある迫力ある講和でした。再び聞きたい。」

「越前の歴史が大変良くわかりました。武生（歴史）を今後も勉強したいと思えます。ありがとうございました。」

「大変興味ある話であった。今後も中世の武生をもっと知りたいと思った。」

「本日は、昔の大変良いお話を聞かせて頂きまして有りがありがとうございました。またの機会を楽しみにして居ります。」

「専門的なことでわからないことが少々ありましたが、ほほわかりやすかつたです。」

「講師の先生の熱意が伝わって、大変興味深く拝聴しました。」

「徐々に青木先生の熱いお話聞き楽しい時間をすごさせていただきました。」

「越前市関連の歴史についての講義はありがたいです。」

「青木先生の足で探索された講演はとても興味深く拝聴しました。」

「郷土の城の歴史のため大変に今後の調査に参考になった。」

「いつも面白くユニークな話で面白く学ばせています。」

「講演会に初めて参加。講師の話し方上手。」

「面白く聞きました。新しく認識を得ました。（南北朝と武生盆地）」

「理路整然と判りやすい説明で良かつた。」

「体調がすぐれなかつたのですが、拝聴させて頂きよかつたと、大変感激しました。」

「二峯城の存在について始めて知つた。」

「豊富な知識をユーモアを交えてのご講話に感銘をうけました。」



図書館友の会会員募集中

年会費500円(会の運営に充てさせていただきます) カウンターへ申し込んでください。

編集後記

▼だんだん夏らしい雲も目立ってきました。すぐにやかましい蝉が鳴く季節。(栗波)

▼人生何度めの夏になるのでしょうか。あいかわらず古本漁り、アナグロ盤漁りに夢中なのでした。(三田村)

▼猛暑が続く中早くもバテ気味です。半夏生の日は丸焼きさばの日。アイスクリームを食べるだけでも涼しく過ごしたいです。(村上)